

1. 科目名 (単位数)	心理学研究法 (4 単位)	3. 科目番号	PSMP3143 PSMP3122 EDPS3301
2. 授業担当教員	望月 宇		
4. 授業形態	講義・実習・演習(ディスカッションを含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	心理学入門、心理学概論、統計学、心理統計法、心理学基礎実験の全てを履修済みであること。		
7. 講義概要	<p>心理学は、具体的に見ることのできない人の心を対象としていることから、一般の人にも興味を持たれやすい学問であり、身近なもののように思われる。しかし学問としての心理学は実証科学としての性格を持っており、具体的に見ることのできる対象を扱う自然科学の方法論と共通するところが多い。そのため、心理学を研究する際、具体的に見ることのできない心を見えるようにするための工夫が求められることから、人の心という対象を実証科学的に扱う方法は、本質的な難点を伴っている。</p> <p>そこで、本科目では、心理学を科学として研究するための代表的な方法である実験法、調査法、観察法、検査法、面接法等について、それぞれの長所短所の両面、並びに研究における倫理を学び、実践するための質及び量のデータを用いた実証的な思考方法を身につけることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<p>1.科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的研究方法(量的研究および質的研究)の手順を理解する。</p> <p>2.心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。</p> <p>3.心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、自ら考え、実践できるようになる。</p> <p>4.心理学研究における倫理とそれを遵守することの重要性を理解する。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	教科書の各章についてその内容をまとめる。これは、学習の再確認をし、学習の定着をはかるために行う。授業の内容に関するレポートを数回提出してもらう。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 高野陽太郎・岡 隆(編)『心理学研究法(補訂版)一心を見つめる科学のまなざし』有斐閣、2015		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1.科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的方法の手順を理解していること</p> <p>2.心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できること</p> <p>3.心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、倫理的な問題を含めて、自ら考え、実践できること</p> <p>○評定方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加)30%、グループ発表 30%、試験(小テスト、課題レポート)40%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	授業前後の学習、復習をしっかりと行おう。知識的なものも実際の生活や自分の最近出会った出来事や考えていたことと噛み合わせてより実用的にしていきたいと思います。		
13. オフィスアワー	授業時に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	調査法 (概観)	事前学習	第 10 章の前半を読んでおくこと
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第 2 回	調査法 (質問紙の作成)	事前学習	第 10 章の前半を再度よく読んでおくこと
		事後学習	質問紙の作成の修正を行うこと
第 3 回	調査法 (作成の検討、発表)	事前学習	第 10 章の後半を読んでおくこと
		事後学習	質問紙の修正を行うこと
第 4 回	調査法 (講義)	事前学習	第 10 章後半を再度読んでおくこと
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第 5 回	調査法 (まとめ)	事前学習	第 10 章のまとめを自分なりにすること
		事後学習	質問紙を完成させ、提出の準備をすること
第 6 回	調査法 (質問紙の完成)	事前学習	第 10 章を通読する
		事後学習	質問紙作成の反省点をノートにまとめる
第 7 回	観察法 (概観)	事前学習	第 11 章を読んでおくこと
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第 8 回	観察法 (観察用紙の作成)	事前学習	第 11 章を再度読んでおくこと
		事後学習	観察用紙の作成のさらなる修正をすること
第 9 回	観察法 (結果の発表と検討、講義)	事前学習	観察用紙を完成させておくこと
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第 10 回	観察法 (まとめ)	事前学習	第 11 章を通読すること
		事後学習	第 11 章をまとめること
第 11 回	面接法 (概観)	事前学習	第 13 章を読んでおくこと
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第 12 回	面接法 (面接の実施練習)	事前学習	第 13 章を再度読んでおくこと
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第 13 回	面接法 (まとめ)	事前学習	第 13 章を通読すること
		事後学習	第 13 章をノートにまとめる
第 14 回	検査法 (信頼性・妥当性)	事前学習	第 12 章を読んでおくこと

		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第15回	検査法（標準化）	事前学習	第12章を再度読んでくること
		事後学習	第12章をノートにまとめる
第16回	前半テスト	事前学習	これまでの学習の復習をすること
		事後学習	テスト結果の自己評価をすること
第17回	科学と実証	事前学習	第1章を読んでくること
		事後学習	第1章をノートにまとめる
第18回	実験と観察	事前学習	第2章を読んでくること
		事後学習	第2章をノートにまとめる
第19回	実験的実証の手続き（概観）	事前学習	第3章を読んでくること
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第20回	実験的実証の手続き（実習）	事前学習	いくつかの実験計画を考える
		事後学習	いくつかの実験計画の再検討をすること
第21回	実験計画の立案、実施、結果、考察	事前学習	一つの実験計画（案）を持参すること
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第22回	実験のデータをとる	事前学習	実験計画を完成させること
		事後学習	収集したデータの分析をすること
第23回	実験法（グループ発表）	事前学習	発表原稿を作成すること
		事後学習	実験報告を作成し、提出の準備をすること
第24回	実験法（実習のまとめ）	事前学習	第3章を再度読んでくること
		事後学習	第3章をノートにまとめる
第25回	実験法（独立変数）	事前学習	第4章前半を読んでくること
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第26回	実験法（独立変数の操作）	事前学習	第4章後半を読んでくること
		事後学習	第4章をノートにまとめる
第27回	実験法（従属変数）	事前学習	第5章前半を読んでくること
		事後学習	本時の学習をノートにまとめる
第28回	実験法（従属変数の操作）	事前学習	第5章後半を読んでくること
		事後学習	第5章をノートにまとめる
第29回	実験法（剰余変数）	事前学習	第6章を読んでくること
		事後学習	第6章をノートにまとめる
第30回	後半テスト	事前学習	実験法に関する学習の復習をすること
		事後学習	テスト結果の自己評価をすること